

Chapter 3

名作椅子 Masterpieces

PP モブラー社の職人でウェグナーの盟友アイナー・ペダーセンはウェグナーを「一枚の図面に一脚の椅子全体を描き、しかも図面から直接に椅子が製作できるようにすべての説明をそこに描き込める、数少ない人物である。」と評した。彼は優れた作図技術を有したデザイナーであったのだ。平面、正面、側面から椅子を捉えた手描きの三面図の、正確で精緻な筆致には改めて驚かされる。

また、そこから生まれた椅子が、裏面も美しい造形と仕上げとなっていることは重要な見どころである。ウェグナーは「家具に裏面があってはならない」と語り、どのから見ても美しい造形であることを前提とした家具作りを行った。展示された 25 脚の名作椅子を図面とともにあらゆる角度から鑑賞すると、ウェグナーのデザインにおける信念を垣間見ることができるだろう。